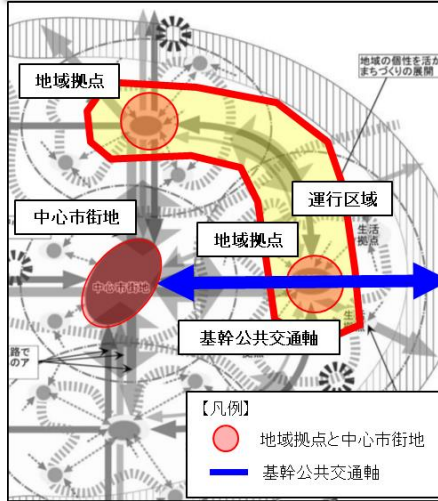


## 新たなコミュニティ交通の検討の方向性について（たたき）

- 人口減少・超高齢社会が進展するなか、市民の多様なニーズを踏まえ、新たなコミュニティ交通の検討が必要。
- エリア設定等について、複数パターンを比較検討し、効果的で実現可能な設定について検討を深める。なお、AI等の新技術の活用についても検討する。

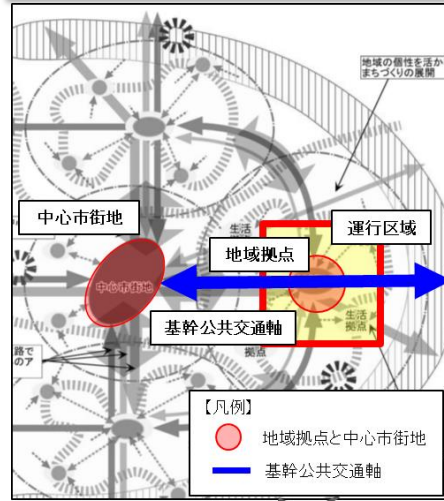
## 1. エリア設定等のパターン

## 【ケース①】地域拠点連携型



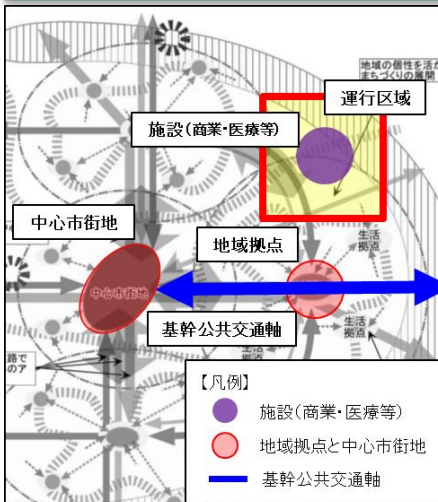
▲地域拠点連携型のイメージ

## 【ケース②】地域拠点中心型



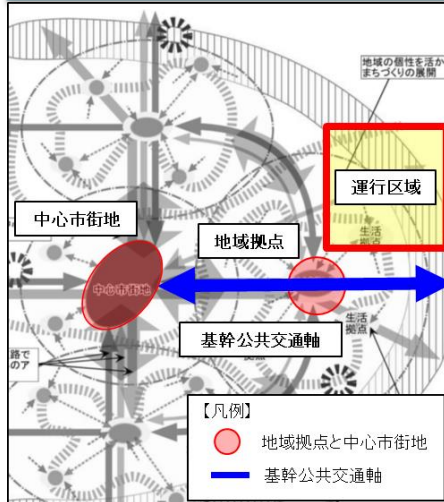
▲地域拠点中心型のイメージ

## 【ケース③】施設(商業・医療等)中心型



▲施設(商業・医療等)中心型のイメージ

## 【ケース④】郊外型



▲郊外型のイメージ

## 2. AI等の新技術の活用の事例(荒尾市)

- ・AIを活用し、複数の乗客が相乗りする予約型乗合タクシーを運行。
- ・荒尾駅を含む約5km四方を設定。平成30年度は約10日間の試験運行を実施。

①乗客Aから  
迎車依頼②別の乗客Bから  
迎車依頼③AIがルートを計算  
乗客ABが乗合

## ▲AIを用いた予約型乗合タクシーのイメージ(荒尾市資料)



▲荒尾市の運行区域図